

予定帝王切開

入院診療計画書（予定帝王切開）

氏名： 様
患者番号

主治医名：
助産師名：

作成日：

日付	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
ステップ名称	入院時	術前	術中	術後	手術1日目	手術2日目	手術後3-6日目	手術後7日目	退院時
目標	手術について理解できる 不安の表出ができる	精神的準備ができています 身体的準備ができています 不安の表出ができる	精神的準備ができています 身体的準備ができています 不安の表出ができる	疼痛コントロールについて理解できる	合併症について理解できる	合併症の徴候がない 合併症の症状・所見がない	母子関係の確立ができる 母乳栄養の確立ができる 自己管理ができる	創部に問題がない	日常生活の注意点について理解できる
投薬					痛み止めの内服薬を開始します。	3本の点滴を行います。			
注射		手術前に点滴を開始します。8:30から手術の場合は、手術室で点滴を開始します。		4本の点滴を行います。	3本の点滴を行います。				
検査	放射線 検体検査 生理機能検査				採血をします。		3日目に採血をします。 5日目に体重測定があります。	採血と採尿を行います。	
処置	体重を測定し、お腹と陰部の毛を除毛します。	手術着に着替え、弾性ストッキングを履きます。手術室に行く前に胎児心音を確認します。		適宜、検温を行います。足にマッサージの機械をつけます。	尿管を抜きます。4回検温があります。		2回検温があります。		
看護情報	確認事項	手術の同意書、説明書の内容の同意を確認します。赤ちゃんの耳の検査同意書を確認します。						退院診療を行います。場合により抜釘 尿検査、体重、血圧を母子手帳に記入します。	
	観察項目	お腹の張り、破水、出血の有無を確認します。	お腹の張り、破水、出血の有無を確認します。	子宮の収縮状態を観察します。排ガスがあったらお知らせください。	母児の状態に合わせて授乳を行います。	早期回復のために離床の必要性、乳房の手当て、授乳について説明をします。	産褥指導（月・木曜日）6日目に沐浴指導があります。		
	指導	必要物品を確認し、病棟案内をします。手術についての説明を行い、入院診療計画書をお渡しします。観察項目の内容がありましたら、スタッフにお知らせください。22時以降は絶飲食となります。マニキュア、ペディキュアは落としましょう。	アクセサリーなど外れるものは、外しておき家族に預けましょう。						
	清潔	入浴の制限はありません。	洗面を済ませておきましょう。		洗面、歯磨きは介助します。拭き、着替えを介助しながら行います。外陰部の清潔（ナプキンの交換）を行います。	朝、手術の創をチェックし問題なければシャワー浴が開始します。	シャワー浴可能		
	排泄	24時間の尿・便の回数を確認します。（0時～24時）	手術室で、尿管を挿入します。		尿管を抜いた後は、トイレに歩きます。3～4時間毎にナプキンを換えましょう。	前日0～24時の尿・便の回数を確認します。			
安静度	院内フリーです。（但し、検温や処置の時間は病室にいらしてください。）	尿管は手術室にて入れます。		術後、3時間したら自力で体の向きを替えることができます。	朝よりベッドを挙げて体を起こします。初めて歩く時には、看護師が付き添います。		制限はありません。		
リハビリ依頼									
食事	産科食が出ます。夜の9時以降は、飲食できません。	絶飲食です。		緊急救食です。	朝から水が飲めます。昼からおかゆがはじまります。	朝からふつうのお食事になります（産科食）。	6日目夕食でお祝い膳がです。	産科食	
栄養指導依頼	特別な栄養管理の必要性 有口 無口								
経過表									
コメント	手術室看護師の訪問があります。麻酔科医師の診察があります。								・退院後の過ごし方について質問がありましたら、スタッフにご相談ください。 ・次回受診日までに何かありましたら、産婦人科外来に連絡ください。

上記の通り説明を受けました。

年 月 日

患者氏名 ()
代理人 () 続柄 ()